

## 一般選抜(前期) 解答例

### 小論文

#### 問1

成年後見制度を改革する議論が法制審議会で始まった。必要な支援を柔軟に受けられる制度に再構築してほしい。求められる支援は利用者の老いや心身の状態により変化するが、一度審判で決定したことは存命中に変更できない点が最大の課題である。ほかにも、利用者の意思決定支援の仕組みづくり、後見人らの代理権の見直し、地域の福祉との連携、市民後見人の養成など、様々な課題がある。以上により、高齢者は今後ますます増加するとされているので、高齢者が安心して暮らせるような制度に改善する必要があると考える。(241字)

#### 問2

「引く」「盛る」「推し」で最も多く使う言葉は、16歳以上19歳までは「推し」、20代以上は「引く」である。言葉別にみると、「引く」は20代から40代が9割を超えており、「盛る」では16歳以上から30代までが8割を超えている。「推し」では16歳以上から20代で8割を超えている。どの言葉も年齢が高くなるほど使用する人の割合は低くなる。看護は様々な年齢層の人を対象とするので、使う言葉も相手に合わせる必要がある。(195字)